



# FAS住まい新聞

発行責任者  
株福地建設

北斗市中野通 324  
Tel 0138-73-5558  
fax 0138-73-8460

## ◇白衣の天使 フローレンス・ナイチンゲール ◇

良い看護が行われているかどうかを判定するための基準として、第一にあげられることは、看護者が細心の注意を集中すべき最初にして最後のこと、何をさておいても患者にとって必要不可欠なこと、それを満たさなかったら、あなたが患者のためにするほかのことすべてが無に帰するほどたいせつなこと、反対に、それを満たしさえすれば他はすべて放っておいてよいとさえ私は言いたいこと、それは「患者が呼吸する空気を、患者の身体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」なのである。

「白衣の天使」の由来とも言われ、病院及び医療制度の改革者／フローレンス・ナイチンゲールは、自身の看護覚え書で、このように記しています。

この「看護覚え書」(1860年)は、人類の半分を占める女性たちに向けて、家族の健康を守り、かつ病気から回復するために必要な考え方や視点について、当時の最高の科学的知識を土台にして、人類史上初めて「看護とは何か」という看護の定義を明らかにしたものです。

## ◇ 断熱と気密、換気と空調 ◇

現在は、昔ほど劣悪な住宅環境で無いとはいえ、毎年のようにヒートショック（室内の温度差によって血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起きること）や熱中症で亡くなる方が後を絶たないのが実情です。

つまりどんなに時代が変わっても、本質の大変な部分は変わらず、今もなお必要なことではないかと思います。

「患者が呼吸する空気を、患者の身体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ清浄さに保つ」ためには、適切な換気をしながら、かつ換気で外気の影響を受けた室内を適温にするための空調が必要です。

そしてその適温を維持するため、断熱と気密が家族の健康を守るために最低限、住宅に備わっていなければならない性能と言えるのです。

加えて言えば、エネルギー問題がひっ迫する現代においては、少ないエネルギーで適温を維持するために高断熱・高気密性能が必須とも言えます。

適切な換気や空調をするにしても、その室内をしっかりととした魔法瓶のように包むように守らなくては、エネルギーの無駄遣いになってしまいます。

## ◇ 屋外の空気と同じ綺麗さに保つこと ≠ 換気 ◇

看護覚え書にて「患者が呼吸する空気を、患者の身体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」と換気の重要性が記されていますが、昨今のコロナ禍によって換気の重要性は増すばかりかと思います。

しかし「室内を屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」は意外と難しいのです。本来換気の目的は、室内の生活で汚れた空気と外気の新鮮な空気とを入れ替えるものです。現代は花粉やPM2.5等の粒子も外気に含まれている場合も多く、必ずしも外気が新鮮空気とは言えない場合があります。

## ◇ 全館空気清浄 「ファースの家」 クーキーノ ◇

「ファースの家」には、家そのものが空気を清浄する性能を持った空調設備『クーキーノ』という仕様があります。

健康空気循環システム AI キットの一部に、ハイブリッド空気清浄化システム「クリーンファンネル」を組み込むことで、PM2.5、黄砂、花粉、埃、ハウスダストを集塵して空気を清浄化させます。

気密性能が低い住宅は、いくら空気清浄機を使っても家の隙間から花粉等が入り込むので効果が期待できない場合もありますが、高い気密性能を持つ「ファースの家」だからこそ可能な仕様です。

ワクチン接種も進み、コロナ感染症も少しずつ良い方向に向かってきました。それでもコロナ禍で根付いた在宅ワークは今後も推奨されていくと思われます。

したがって「おうち時間」が長くなり、自身や家族のためにもより良い室内環境がますます重要なになってくるのです。

これから家づくりをご検討される方は、価格やデザインも大切ですが、ぜひ家の性能（断熱、気密、換気、空調、空気清浄）にも注目してみてください。

(著：研究開発室 村上一人)

■ 「ファースの家」 クーキーノの詳細はホームページにてご覧ください。

<https://www.fas-21.jp/kukino/>

驚きの性能を実証!クリーンファンネルならきれいな空気を実現。

微細な汚れもしっかり清浄・吸着。PM2.5よりもさらに小さな微小粒子もこんなに除去できました。

### ■測定データ



北海道北斗市 A様邸(2016年2月8日)  
【測定方法】健康空気循環システムキットを搭載させた上で、室内で香料を燃焼。部屋を室内に充満させた状態で「クリーンファンネル」を静電吸引式を用いて測定(直径 15cm)。静止時間 15 分ごとに、ハイブリッド空気清浄機(150W)で 30 分間運転を行った。左記グラフは、95% 清浄化の前の「測定前」における粒子の個数であり、「クリーンファンネル」を 30 分間運転し、粒子が清浄化される状況を数値化したもの。  
※北上お水牛化で測定した数値であり、居住体におけるそれを保証するものではありません。